

PTAの協力のもと「弁当の日」や「フードドライブ」に取り組み、食育を学ぶ

取組概要

生徒がつくる「弁当の日」は、事前に家庭科で計画を立て、文化祭の日に持参している。「フードドライブ」は、食品ロスの削減等のSDGs学習の重要性を境剛志公民館と啓発し、PTAとともに実践している。

取り組みの詳細



【弁当の日】料理の献立を家庭科で考え、食材を「フレッセイ」に買い出しに行くと割引になる。調理・弁当箱詰め等も生徒自身で取り組ませ、自立した生活者の育成を図る。保護者は子供が自立できるよう見守りながら、相談にのる。



【フードドライブ活動】家庭で余っている食べ物を家族で相談し、家庭の協力を得て学校や職場などに持ち寄り、それらを取りまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動。

成果

- ・お弁当を自分で調理することで、自立した生活態度を養える。
- ・フードドライブに参加することで、SDGsの目標の達成に貢献できる。

課題や今後の取り組み

- ・令和8年度に「弁当の日」を始めた先生をお招きし、生徒、保護者、教職員で講演を聴き、「弁当の日」の意義を再認識する。

その他の取り組み紹介

- ・PTA会員による登校時の旗振り当番活動及び地域安全パトロール
- ・SDGs、キャリア講演会（座談会形式）に保護者の参加依頼
- ・学校運営協議会委員と生徒による学校課題についての給食交流会

保護者と生徒が共に取り組む「弁当の日」の活動を通して食育の推進を図っている。また、年2回の「SDGs講演会」に参加し、持続可能な社会や環境について理解を深めている。

基礎情報

団体名

伊勢崎市立
境西中学校PTA

全校児童・生徒数

121名

学校の特徴

○学校教育目標である「自ら学ぶ生徒」「思いやりのある生徒」「たくましく生きる生徒」の実現に向けて、地域の御嶽山のクリーン清掃活動や公民館のボランティア活動等を行い、地域とともにある学校づくりに努めている。

組織構成

